

9月 行事予定

夢・希望・未来 笑顔いっぱい希望が丘！

| 日 | 曜 | 朝(初めの時間) | 学校行事等 |
|----|---|-------------|-------------------------------------|
| 1 | 金 | 読書タイム | 総合防災訓練(引取訓練) 3年発育測定 教科書配付 |
| 2 | 土 | | 地域防災訓練(AM) |
| 3 | 日 | | |
| 4 | 月 | 読書タイム | 2年発育測定 委員会活動 |
| 5 | 火 | 朝学習 | 1年発育測定 |
| 6 | 水 | 朝学習 | 個別発育測定 |
| 7 | 木 | 原案説明 | |
| 8 | 金 | 開校記念集会 | 4年愛川保護者説明会 SC |
| 9 | 土 | | |
| 10 | 日 | | |
| 11 | 月 | 読書タイム | |
| 12 | 火 | 体育集会(プール納め) | SSW 校内授業研(全校5校時) クラブ活動 |
| 13 | 水 | 朝学習 | |
| 14 | 木 | 朝学習 | |
| 15 | 金 | 朝学習 | |
| 16 | 土 | | |
| 17 | 日 | | |
| 18 | 月 | 敬老の日 | |
| 19 | 火 | 希望っ子メロディ | |
| 20 | 水 | 朝学習 | はみがき検査(3~6年) 歯科巡回指導(個別) |
| 21 | 木 | 集会 | |
| 22 | 金 | 読書タイム | 6年修学旅行保護者説明会 SC |
| 23 | 土 | 秋分の日 | |
| 24 | 日 | | |
| 25 | 月 | 読書タイム | |
| 26 | 火 | 朝学習 | 5年ふれあいコンサート 4年午前授業 |
| 27 | 水 | 読書タイム | 4年愛川宿泊体験学習 |
| 28 | 木 | 読書タイム | 4年愛川宿泊体験学習 |
| 29 | 金 | 朝学習 | |
| 30 | 土 | | |

【8・9月の目標】

- ☆生活目標 けじめのある生活をしよう
- ☆保健目標 元気に安全に運動しよう
- ☆給食目標 後始末をきちんとしよう

お知らせ

☆総合防災訓練☆

9月1日(金)に行う総合防災訓練は、授業中に震度5強以上の地震が発生したことを想定して実施します。この日は、引取下校訓練を実施します。出席番号のグループ毎に、14:05から引き渡しを行います。7月に配付した手紙をご確認ください。また、ご家庭でも万が一に備え、集合場所や約束などを話し合っておいてください。

☆開校記念日☆

本校は、昭和27年9月1日に二俣川小学校の分校として創立し、授業を開始した9月9日を創立記念日としています。8日の開校記念集会では、希望小のはじまりにちなんだクイズを通して、母校への愛情を養う取組を行います。

☆大縄集会☆

7月5日~7日に、大縄集会を実施しました。当日までに練習をしているクラスも多く、本番でも一生懸命跳んでいました。また、ペア学年同士で応援したり、励ましたりする姿も見られました。次の大縄集会に向けて、各クラスで取組を進めていきます。

☆児童支援専任から

全ての横浜市立小学校に、「児童支援専任」という職員がいます。「特別支援教育コーディネーター」を兼ねています。子どもたち同士の問題解決やいじめ・暴力の未然防止の取組の推進、登校支援の中心的役割、スクールカウンセラー(SC)・スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)と連携しての教育相談活動の窓口、地域・幼保小中・児童相談所・警察・区役所・療育センター等との連携の窓口などを担っています。(本校では、久保 大教諭が担当)
お子さんが、安心して学校に通うために、何かございましたら、いつでも学校へご連絡ください。

☆横浜子ども会議☆

「つながる、広げる、いじめ未然防止の輪」というテーマに向けて、7月26日に南希中ブロック会議(南希中、善部小、希望小)が行われました。希望小では、代表委員会で各クラスの取組を募り、それをまとめ、高学年の代表者3名が会議で発表しました。発表や質疑応答を通して、実りある時間となりました。

☆スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)

学校での困りごとを抱えている子どもと家庭を支えるのが、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)で、「福祉」の専門職です。原則月に1回来校しています。スクール・ソーシャルワーカーの方と面談を希望される方は、児童支援専任が窓口となっています。何か気になることがございましたら、学校へご連絡ください。9月の来校日は12日(火)です。

☆スクールカウンセラー(SC) 来校日☆

8日(金) 9:35~16:15 22日(金) 9:35~16:15

相談を希望する方は、児童支援専任または副校長へご連絡ください。

045-391-0117

学校だより



9月号

きぼう

2023年8月31日
横浜市立希望ヶ丘小学校

災害から命を守る行動と備えを

学校長 山本 美和

38日間の夏休みが終わり、希望ヶ丘小学校に子どもたちの元気な声が響いています。夏休み前日の朝会では、子どもたちに「長い休みを利用して、計画的に様々なことに取り組んでください。」と話しました。夏休みの課題に取り組みながら、旅行や様々なイベントへ参加したり、自分の好きなことや興味があることに没頭して心身のリラックスを図ったりすることもできたのではないかと思います。校長としては、子どもたちが大きな事故や事件に巻き込まれることなく過ごせたことを嬉しく思っています。

一方、全国的にみますと、近年の夏は毎年のように「記録的な〇〇」が世間を騒がせ、高温による熱中症、豪雨による水害等の自然災害が各地で発生しています。異常気象と感じていた高温や豪雨は、もはや想定外のものとは言えず、日常となりつつあると感じています。また大地震については、いつかは分からないが必ず起こると言われています。

災害が起こった際は、適切な避難が必須であり、片山敏孝著「命を守る教育(PHP研究所2012)」では、避難三原則(想定にとられるな/最善を尽くせ/率先避難者たれ)は、重要な指針であると述べています。災害の多い日本においては、伝統的に住宅は災害リスクの低いところにあり、大人は経験上、自宅が災害しにくいことを知っており、前もって避難する行動を起こさないことが多いようです。一方で、災害後の報道にもあるように、子どもに促されて、避難して命拾った事例も多くあります。子どもは経験がない分、素直に怖がって避難しようと家族に訴えるようです。大人は、現実的でなかなか避難しない傾向、逆に子どもは規範的に早めに避難する傾向があるようです。

学校では、防災教育として毎月1回、火災も含め自然災害に対応する避難訓練を行っています。「なぜ、避難する必要があるのか」「何から避難するのか」「何を確かめるために行うのか」等、その時々の訓練のめあてを明確にして行っています。例えば、大地震の発生を想定した訓練では、余震等を伴ったり、停電が発生したり(校内放送が使えない)、あるいは災害時に子ども自ら判断して行動する設定など、様々な状況を考え、確かめる視点に応じて訓練を行っています。子どもたちには、先ほど述べた三原則のうち、特に「最善を尽くせ/率先避難者たれ」、つまり「自分の命は自分で守ること」を強く指導しています。自分が逃げて助かること(自助)は、それにつられて周りの人も逃げる(共助)につながると考えます。ぜひ、いざという時は子どもたちの声に耳を傾けていただければと思います。

夏休みに、本校職員4名と横浜市民防災センターで研修を受けました。災害時は、公的機関も被災してすぐに対応できないことも想定されるため、日頃の備蓄や災害時の家族同士の連絡の仕方や行動を確認しておく大切さにあらためて気付かされました。今年は、関東大震災からちょうど100年です。明日9月1日の総合防災訓練(引き取り訓練)へのご協力を、ぜひよろしくお願いいたします。また、2日の希望が丘地区地域防災訓練にも多くの方が参加されるようです。ご家庭でも、素早く命を守る行動ができるように備えていただければと思います。学校としても、引き続き、防災教育にしっかりと取り組んでまいります。